

## 広島会場 「法科大学院が分かる会」 感想文

### (その1)

今回、私が「法科大学院が分かる会」に参加したのは、サークルの先輩に勧められたことがきっかけでした。もともと法科大学院には学部に入学した当初から興味がありましたが、実態はほとんど知りませんでした。しかし、今回参加したことで、法科大学院の実態や魅力などを知ることができました。色々な方々の話を聞いて、自分が特に法科大学院に対して感じた魅力は「同じ目標を持った仲間と切磋琢磨できる」ということです。現在、法学部2年の私は学友に恵まれ、日々楽しく大学で勉強をしています。しかし、それぞれの進路は異なるため、将来法曹を目指す自分にとってはどこか物足りなく感じていました。法科大学院に行けば、法曹という同じ目標を持った仲間とともに、議論をしたり、教え合ったりしながら勉強することができるということを知り、それだけで十分行く価値があると強く感じました。また、弁護士、検察官、裁判官の方々の話を聞いて、活動領域の広さや社会正義の実現という大義など法曹という職業の魅力を再認識しました。将来自分も法曹となり、社会に貢献するために今後は、法科大学院という進路を意識して勉強していきたいと思います。

### (その2)

私は今大学3回生でいずれは法曹の世界に入りたいと思っており、ロースクールの受験に興味があります。ですがロースクールとはいまいちどのようなところか分かっておらず受験に不安を抱えていました。そこで、この法科大学院が分かる会に参加しました。

説明会ではロースクールで現在学ばれている学生の方々や、司法試験に合格して司法修習を受けている方、そのほか現役の法曹三者の方々など様々な法曹界を背負う方達のそれぞれから見たロースクールのあり方についてお話を聞くことができました。

私はこの説明会を聞いて、ロースクールはやはり甘くはないが、その中で目的を同一とする仲間たちと共に学ぶことができ、司法試験に合格した後の準備時間でもあることを、学びました。ロースクールで法律知識の原理原則をしっかりと学ぶことが一番の司法試験合格への近道だと思いました。

また、今回の説明会では実務家の方々の現場での考えを直接聞くことができ、非常にためになるお話ばかりでした。もう少し早くにこのような説明会に参加できていればと後悔しました。